

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案) 参考資料  
 = 40m完成案のケース =

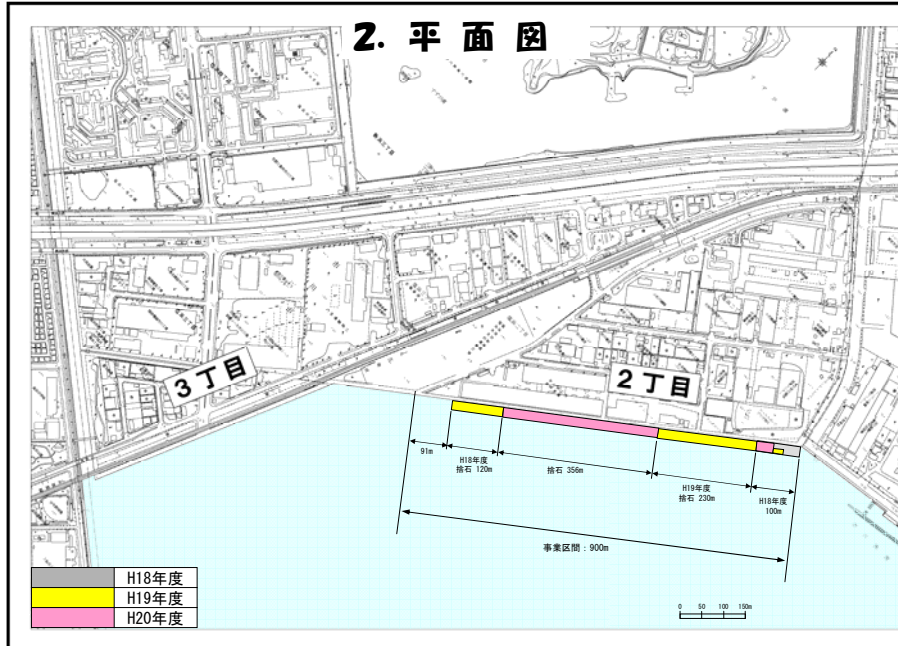
参考資料目次

1. 位置図	29
2. 平面図	30
3. 工事の計画	
(1) 護岸配置計画図	31
(2) 断面図	32
4. 平成20年度モニタリング調査計画	
(1) 平成20年度のモニタリング調査計画	34
(2) 平成20年度モニタリング調査位置	35
5. 平成20年度実施工程表(案)	36
6. 塩浜2丁目の護岸改修の流れ	37

1. 位置図



2. 平面図



### 3. 工事の計画

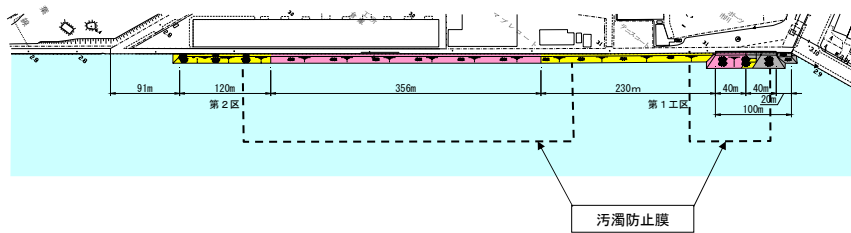
#### (1) 護岸配置計画図

○H18年度に引き続き中詰めの捨石(+4.0m)と海側のH鋼杭を356m施工して護岸の倒壊防止となる緊急対策を完了する。

○また、H17年度の完成断面に隣接した40mを新基本断面での完成形とする。

○さらに、陸側のH鋼杭の工事を300m行う。

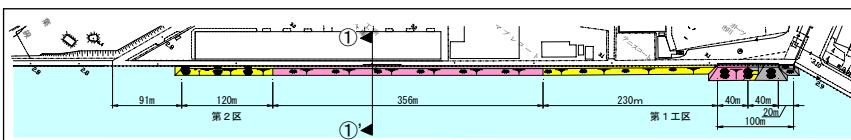
※H20年度工事進捗量: 捨石+海側H鋼杭 356m、  
完成形 40m、  
陸側H鋼杭 300m



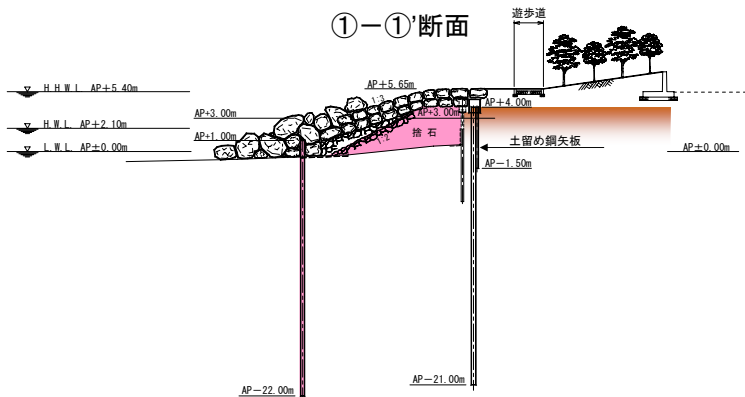
31

### 3. 工事の計画

#### (2) 断面図: ①-①' 断面



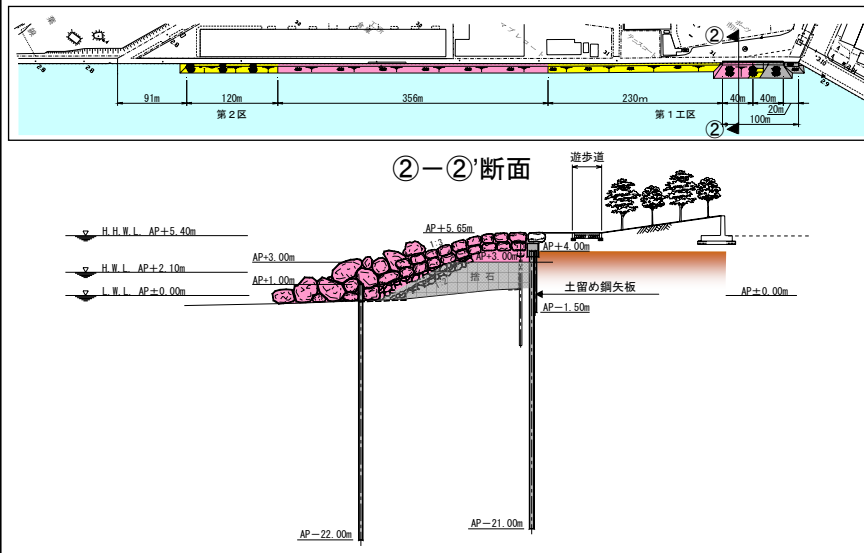
#### ①-①' 断面



32

### 3. 工事の計画

#### (2) 断面図: ②-②' 断面



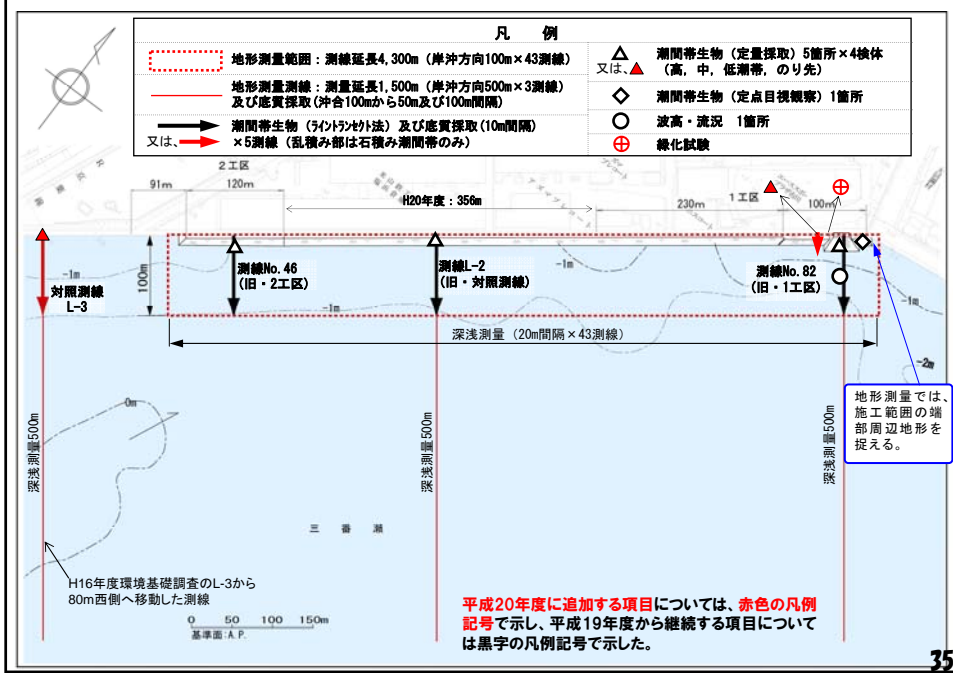
#### 4 (1) 平成20年度のモニタリング調査計画

※青字部分がH19年度からの変更内容である。

区分	項目	目的	方法	時期(間隔)	数量等
検証項目	地形	・護岸部の張り出しによる周辺への物理的影響の把握 ・洗掘等による周辺地形の変化の把握等	地形測量	春季: 4月 秋季: 9月の年2回 東側端部脇は年2回+イベント(台風等の高波)後	・護岸改修範囲の岸沖方向100m × (43測線) = 測線延長4,300m ・測線No. 82、L-2、対照測線L-3の岸沖方向500m × (3測線) = 測線延長1,500m ・石積護岸の東側端部脇の4地点
	底質	粒径の変化の把握	採泥・粒度試験	春季: 4月 秋季: 9月の年2回	・測線No. 82、L-2、No. 46、対照測線L-3の岸沖方向100mの4測線で10m間隔で採泥(10検体): 合計40検体 ・測線No. 82、L-2、対照測線L-3の岸沖方向500mの3測線では、沖合150m、200m、300m、400m及び500mの5地点で採泥: 合計15検体
	生物	潮間帯生物の定着状況 ※調査は公開とし、ライントラセクト法による観察は市民との協働で行うものとする。	ライントラセクト法による観察	春季: 4月(H20) 夏季: 9月(H20) 冬季: 1月(H21) の年3回	・測線No. 82、H19年度乱積施工箇所、L-2、No. 46、対照測線L-3の計5測線 ・石積護岸(斜面上): 方形枠(50cm × 50cm)による連続目視観察 ・高潮帯から護岸のり先まで1m間隔 ・旧護岸法線より30~100mは10m間隔 ・石積護岸の東側端部の1地点においても観察 ・H19年度乱積施工箇所は潮間帯のみ観察
	緑化	被覆石の緑化に適用可能な植物の種類を選定を行う。	暴露試験	平成20年度中	・平成19年度護岸検討委員会で植栽の位置、植栽種を選定等を検討 ・植物種、生育密度、生育範囲等を追跡調査
	水鳥	水鳥の場の利用への影響の有無を把握する。	・既往の調査結果の整理と、今年度、別途実施されている自然環境調査結果を用いて、水鳥への工事の影響を考慮する必要があるかどうかを含めて、検討を行う。		
検証材料	波浪・流況	物理環境への外力(波、流れ)把握を目的とする。 ・波高・波向の計測 ・流れの計測(海底面上約1m)	波高・流速計の設置	・9月と10月 ・3月と4月 最長60日 ×2回/年	・測線No. 82の護岸前面の1箇所(30日~60日連続観測; 目的とする外力が把握される時点までとする)
	青潮時の溶存酸素量測定 生物環境への外力把握を目的とする。	D0計による測定	青潮発生時	・第1工区の完成断面石積のり先。未施工区間の直立護岸前面	

※測線名称の「No.82」は平成19年度モニタリング計画の旧名称で「1工区」と同じ測線、同じく「No.46」は旧名称で「2工区」と同じ測線である。

## 4 (2) 平成20年度 モニタリング調査位置



35

## 5. H20年度 実施工程表(案)

36

区分	年月	H19年度		H20年度												H21	備考	
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
準備工	一次	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	H20年度一次工事 海城捨石工L=356m
	二次				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	H20年度一次工事 海城H構杭L=265m
	三次																	H20年度二次工事 海城H構杭L=162m
	完成形																	H20年度二次工事 完成形被覆石L=40m
海城工事	鋼矢板工																	H20年度三次工事 陸域H構杭L=300m
	H構杭工																	H21年度前倒し工事
	捨石工																	
	被覆石工																	
陸域工事	鋼矢板工																	
	H構杭工																	
	捨石工																	
	被覆石工																	
モニタリング	波高・流況																	30日(最大60日)観測
	地形																	別途イベント時対応
	底質																	別途イベント時対応
	生物																	別途イベント時対応
その他	青潮観測																	青潮観測
	緑化試験																	緑化試験
工事の発注予定	平成20年度(一次)	平成20年度(二次)			平成20年度(三次)				平成21年度(前倒し)									
	2月中旬契約 5月上旬工事に着手	5月下旬契約 6月下旬、7月中旬工事に着手			9月上旬契約 12月上旬工事に着手				2月中旬契約 5月上旬工事に着手									

## 6. 塩浜2丁目の護岸改修の流れ

= 順応的管理を踏まえた改修の流れ =

